

大津市科学館は、令和2年(2020年)10月1日、開館50周年を迎えました。大津市歴史博物館所蔵昭和43年のびわこ大博覧会や約50年前の大津の航空写真など18点とともに、当館所蔵写真など合計約120点の写真を展示しています。当館所蔵写真は、におの浜時代のものから現在に至るまで、初公開のものを多く含みます。

写真展の終了時期が迫ってきました。どうぞこの機会にご覧ください。

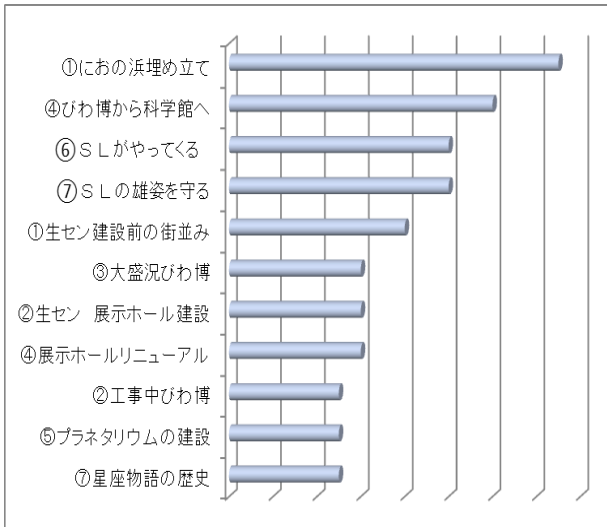
大津市科学館50周年記念写真展 写真で振り返る科学館 50年の歩み

観覧無料

令和2年10月1日(木)～12月27日(日)

総選挙
ベストテン中間発表

『総選挙 あなたが選ぶ「科学館50年の歩み」』の12月5日までの集計結果です。



第一会場(におの浜の科学館時代)

- ① おの浜の埋め立て(1966～1968)
- ② 工事中のびわこ大博覧会(1968)
- ③ 大盛況のびわこ大博覧会(1968)
- ④ びわこ大博覧会から大津市立科学館へ(1970)
- ⑤ プラネタリウムの建設(1973～1974)
- ⑥ SL『C57 128号』がやってくる(1976)
- ⑦ SL『C57 128号』の雄姿を守る(1976～現在)

第二会場(本丸町の科学館時代)

- ① 生涯学習センター建設前の街並み(1965～1968)
- ② 生涯学習センター内 大津市科学館 展示ホール建設(1990～1992)
- ③ 生涯学習センター内 大津市科学館 プラネタリウム建設(1990～1992)
- ★ プラネタリウム 1万人達成(1992)
- ★ プラネタリウム 10万人達成(1995)
- ★ プラネタリウム 20万人達成(2001)
- ★ 展示ホール 30万人達成(2001)
- ④ 展示ホールリニューアルオープン(2003)
- ★ プラネタリウムリニューアルオープン(2004)
- ★ プラネタリウム 30万人達成(2005)
- ★ 展示ホール 50万人達成(2008)
- ★ プラネタリウムリニューアル(2012)
- ⑦ 星座物語の歴史
- ⑧ 展示ホールリニューアル(2013)
- ⑨ 科学館のキャラクターたち
- ⑩ 新型コロナウイルス感染症対策(2020)
- ⑪ 歩み続ける科学館(2020)



寄せられたコメント
ほんの一部紹介

- 10才未満・・・すごいなと思いました。
- 10代・・・今回はありがとうございました。〇〇中学校より。
- 20代・・・パラボラアンテナに走って飛びついていた小学生の時代を思い出しました。
- 20代・・・開館当初の姿をはじめて知りました。日々進化する科学館にまた来たいです。
- 30代・・・大津の科学館といえば、ナウマン象、ボールコースター、クイズで冒険するやつ！
三平方の定理を表した動く展示なども懐かしいですね。時代が変わっても、良いものは良い！
ボールコースターよ、永遠に！
- 40代・・・子どもの頃は、よく100円玉を握りしめて、土曜日の午後に自転車に乗って見に行っていました。懐かしいです。当時、本丸町在住でした。
- 40代・・・膳所城跡もうめたてだとは知りませんでした。
- 50代・・・びわ博のゲートをくぐった記憶はうすらと持っていたが、今日でははっきりとしました。小学生の頃、中央学区在住でしたが、何度もこの埋立地の広大なススキ畑に、オニヤンマやギンヤンマ、ウチワヤンマを探りに行き、科学館の展示の中でも特に自動車の展示が好きで、運転席に座りハンドルを回していたことがたいへん懐かしいです。ありがとうございました。
- 70代・・・なつかしい「ナウマンゾウ」に再会できました！
- 70代・・・博覧会は高校生でした。学校から見学に行き、懐かしかったです。

